

アシストコンサルティング / 江尻幸雄からの『2分で読切りニュースレター』

このニュースレターは名刺を交換させて頂いた方へお送りしています。不要な場合は空メールを返信頂ければ次回より停止いたします。この記事が皆様のお役にできれば幸いです。

今回のテーマは、、、『スパコン京(けい)を見学』です

科学の世界は日進月歩の感があります。特にコンピュータの世界ではそうです。神戸のポートアイランドにある理化学研究所に設置されているスーパーコンピューター「京」を見学する機会に恵まれました。

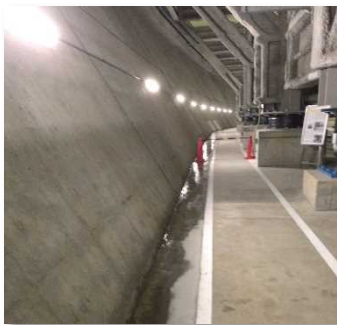
●「スーパーコンピューター京」を支えているモノ

数年前に国会議員が事業仕分けで「2位ではだめなんですか」と国会で質問したことをご記憶にありますか？それ程、開発競争はすさまじかったのですね。投資額も。。。現在でも“京”の性能はけた違いで、現在このようなシステムを独自技術で作れるのはアメリカ・中国、そして日本の3か国だけだそうです。よく記事では84台のラックの写真(見栄えが良いのか?)と共に演算処理速度が取り上げられますが、システム全体の停止が年4日だけと高稼働率なんですね。



“京”を中核としてそれを支えている 建物躯体 温度管理 電源維持 が全体としてシステム化されていることが良く分かります。“京”とは84台のラックだけでなく、これらの設備を統合した総称とも言えます。本来は複雑な構造であるにもかかわらず、緻密な取組みの上で非常にシンプルに組み立てられており、機能美さえ感じられました。

さて、まず“京”のある計算機棟の建物は大きな縦穴に大きな立方体の構造物を浮かしていったようなものです。



それを地下1階(←左写真)の巨大なダンパーなどを使い支えています。

また建物内の温度を一定に維持するため、空調機が2フロアのスペースを占有しています(右写真→)。



実はもっとも怖いのは、82,944個のCPUの故障ではなくデータを保管しているハードディスクの事故です。計算はやり直せばすみますが、データは**仮**にバックアップを取っ

ておらずに一度消失すると同じものを手に入れることができません。落雷や停電などでもそのような事故は起こり得ますが、電源の安定供給は重要です。これは2011年3月東日本大震災が誘発した福島第1原子力発電所の事故の際にも指摘されたことです。このため**“京”は大規模な電源施設を有しています**。電気代だけでも年24億円。

(誤解を生じる表現を配信後に修正しました。赤字の2か所です。)

●視野を広げる シンプルに考える

普段、私達は主役(あるいは目立つもの)に目を止めがちです。それは当然かもしれませんが、もう少し広い視野で見ると主役を支えている多くの物事があることが分かります。事業運営においても花形商品や部署、あるいは“できる社員がいるでしょうが、それを支えているものにも目を向けることが大切です。また卓越した事業計画書には「何を付け加えるかより、何を省くか」のシンプル化の思い切りが必要です。そのためには複雑な本質を理解していることが前提となりますが、今回は写真が見づらく失礼しました。最後までお読み頂きありがとうございます。

アシストコンサルティング 代表 江尻幸雄 中小企業診断士 / 上級シスアド / 認定経営革新等支援機関

【組織開発コンサルタント: 組織開発の人財育成/組織活性化により目標達成力アップ】

ALL Rights Reserved By assistConsulting